

令和6年度 学校図書館活用計画・評価シート

白地部分：計画策定時記入（年度当初）

水色部分：評価時記入（年度末）

足立区立 栗島 中学校 校長 豊崎 努

1 学校教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、規範意識と豊かな個性、創造力をもって社会に貢献しようとする精神を培い、心身ともに健やかで夢や希望を実現する自立した人を育てる教育を推進する。

・進んで学ぶ生徒 ・思いやりのある生徒 ・根気強くやりぬく生徒

2 現状の学校図書館の課題

- ①図書館が狭く、1クラス（30人程度）が一斉に落ち着いて学習するスペースの確保が難しい。
- ②図書館の机が大きすぎるため、個々の学習スペースが確保しづらい。
- ③授業で図書館を活用する時間の確保が難しく、ICTと関連した図書館学習が進んでいない。
- ④図書館に行ったり、本を借りたりする習慣のない生徒が多くいる。

3 今年度の学校図書館の重点目標

- ①学校図書館を「読書センター」「学習・情報センター」として利用するよう、推進を図る。
- ②生徒の心のオアシス（居場所）としての機能を果たす。
- ③生徒の読書活動を支援し、読書を推進するとともに、様々な情報を効率的に駆使できるように指導する。

4 今年度の重点的な取組

- ①学校図書館で学習が円滑にできるように、環境を整備・工夫する。
- ②朝読書を推進して読書時間を確保し、図書館の本を読むよう様々な仕掛けをする。
- ③生徒が行きやすい、活動しやすい場所となるように、学校司書の対応時間も工夫する。

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館の図書や資料を活用して取り組む単元等）
国語	①根拠を示して説明しよう ②メディアの特徴を生かして情報を集めよう ③情報を読み取って文章を書こう
社会	①人々の生活と環境 ②身近な地域の調査 ③私たちの課題—持続可能な社会を目指して—
音楽	①日本の民謡 ②舞台芸術—西洋と日本の芸術— ③音楽史
英語	① 文法事項（How many～） ②プレゼンテーション ③現在完了（会話活動）
保体	・スポーツの祭典に関するレポート ・健康な生活と疾病の予防

実践の評価

- ・国語では、図書館を使った調べる学習コンクールでの活用に加え、1学年の「根拠を示して説明しよう」の単元において図書館の蔵書を活用しながら授業展開することができた。また、3学年では本に記載されている情報を基に「資料から読み取れる情報」を文章化するという実践を行った。
- ・保健体育では、「スポーツの祭典に関するレポート」を作成する一環として図書館の蔵書からオリンピック・パラリンピックの歴史について調べ、2024年開催のオリンピック・パラリンピック競技に関するレポートを作成した。
- ・総合的な学習の時間「立志」では、各グループテーマに沿って、図書館の蔵書から情報を集め、資料作成を行い、プレゼンテーションを行った。

6 図書館運営計画

(1) 日常的な取り組み

- ① 読書時間の確保（毎日の読書）②本を用意できない場合は図書館から本を借りるよう声かけ

(2) 主な行事等の取り組み

- ①読書週間（スタンプラリー）年2回実施（夏季・秋季） ②貸し出しランキング

(3) 図書委員会などの取り組み

- ①図書新聞による本の紹介 ②POP 作り

(4) 環境整備の取り組み

- ①書架の整理を進め館内のスペースを確保する。
②電算化更新等に適切に対処できるようにする。

(5) 司書・外部との連携

- ①学習や読書に必要な本の選定を適切に行い取り寄せる。
②授業で活用を想定し、資料の準備や時間の確保を適切に行う。

実践の評価

- ・レイアウト変更とともに使いやすい図書館を目指し、ディスプレイや書架表示、案内図などを工夫し、リニューアル化を図った。
- ・蔵書調査を行い、破損図書や紛失図書を把握し、除籍作業や修繕作業を進めた。
- ・全校生徒に向けて、Google Classroomを活用して「新着図書のお知らせ」や「給食コラボコーナーのお知らせ」を発信し、図書館利用のPRにつなげた。

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	ICT の活用にとどまらないように、本や新聞を活用し、複数の媒体から情報を収集させる。	図書館を利用した学習の実施（年4回）	全学年、4回以上学習に活用（達成）
②	朝読書を行い、生徒が年間で5冊以上の本を読むように導く。	年間平均貸出冊数（1人7冊）	年間平均貸出冊数一人6冊（未達成）
③	年間の学習指導内容に図書館を活用した内容を入れ、教科担当と連携して実施する。	授業で図書や資料を活用した割合（年間40%）	活用割合は20%程度（未達成）

8 学校図書館全体に関する自己評価

- ・学校司書の働きにより、図書室の環境が大幅に改善・整備され、生徒が利用しやすい環境作りができた。
- ・新聞閲覧コーナーを設けたことで、生徒が身近に新聞に触れる機会を提供することができた。
- ・配慮を要する生徒の居場所として、図書室が機能を果たすことで、学校が安心して過ごせる場所となっている。学校図書館が居場所づくりとして大きな役割を担っていることは非常にありがたいことであり、学校の強みとして今後も活用を推進する。
- ・引き続き蔵書を増やすとともに、新書を精選して、生徒が多くの良い本に触れる機会をつくる。
- ・今後は読書活動推進のため、朝読書との関連を図る取組を実施していく。